

製品名: T2R49 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18574**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	TAS2R20
別名	TAS2R20; TAS2R49; Taste receptor type 2 member 20; Taste receptor type 2 member 49; T2R49; Taste receptor type 2 member 56; T2R56
遺伝子 ID	259295.0
SwissProt ID	P59543
免疫原	抗血清はヒト TAS2R49 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 94-143

背景

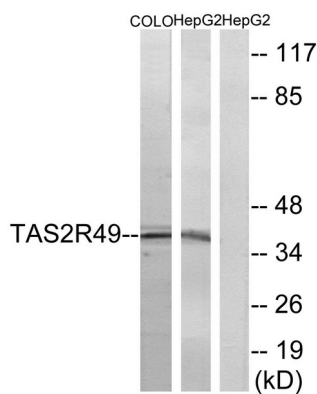
この遺伝子は、クラス C G タンパク質共役受容体の味覚受容体 2 ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーの受容体

は、短い細胞外 N 末端、7つの膜貫通ヘリックス、3つの細胞外ループ、3つの細胞内ループ、および細胞内 C 末端を持ちます。このファミリーのメンバーは、味覚受容体細胞のサブセットで発現し、苦味受容に機能するほか、脳、生殖器、呼吸器系、消化器系などの非味覚細胞にも発現します。この遺伝子は、染色体 12p13 の味覚受容体遺伝子クラスターにマッピングされます。[RefSeq 提供、2016年7月]、機能：苦味の知覚に関与する可能性のある受容体で、ガストデューシンと関連しています。消化管内容物の化学組成を感知する役割を果たしている可能性があります。この受容体の活性は、 α ガストデューシンを刺激し、PLC- β -2 の活性化を媒介し、TRPM5 のゲーティングにつながる可能性がある。、その他：ほとんどの味覚細胞は、限られた数の苦味化合物によって活性化される可能性がある。個々の味覚細胞は、苦味刺激を区別することができる。、類似性：G タンパク質共役受容体 T2R ファミリーに属する。、組織特異性：舌の味覚受容体細胞のサブセットで発現し、ガストデューシン陽性細胞にのみ発現する。、

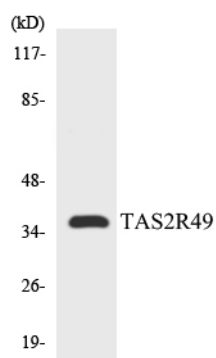
研究分野

味覚伝達;

画像データ



TAS2R49 抗体を用いた COLO 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



TAS2R49 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。